

会議報告

会議名称	「元気な入間」まちづくり推進・協働ガイドライン策定会議 第7回会議
開催日時	平成19年5月21日（月）午後2時00分～4時15分
開催場所	市民活動センター 3階 活動室1
出席委員	渡部直也・鳥山政之・岩崎廣司・太田恵子・亀谷容子・北田尚美・ 齋藤次雄・清水英弥・清水洋行・関谷佳代子・瀧澤良生・中澤 岳・ 原口喜代美・堀夫紗子・宮岡利幸・文字山啓子・ 以上16名 アドバイザー 犬塚裕雅
欠席委員	・岡野亘・上原保夫
傍聴人	無し
事務局	大野課長・齋藤主幹（司会）・西澤主査・齋藤主任
会議の概要 及び 決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 渡部会長 3. 事務局より 4. 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1)前回事例のグループ討議を振り返り、キーワードの抽出と検討 <p>[主な内容]</p> <p>○渡部会長が、今後の会議の進め方について運営会議での内容報告。</p> <p>○鳥山副会長が、運営会議の検討経過を下記のとおり報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の先進事例研究を検討し、今後の進め方、活用方法の検討にいかしていきたい。 ・入間市の現状と比較して、宮崎市のルールブックは進んでいるので、理想の進め方として、宮崎市のルールブックを理想（教科書）として参考にしながら、いければ良いと思う。 ・前回の各班まとめを各グループで煮詰め、キーワードを抽出する。（各グループは次第裏面のとおり） <p>○渡部会長より今日の研究方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入間市として、「ここは活かせる」「ここは考えた方が良い」などグループごとに話し合い、まとめてほしい。 ・グループ討議のち発表

○グループ討議（30分のち各班発表）

○各グループからの意見（概要）

1班

- ・ボリュームは少ない方がよい。
- ・協働に委託や補助金をいれるかどうか。
- ・名前はルールブックの方がわかりやすい。
- ・市民、行政内部のアンケートも必要
- ・評価サイクル（アセスメント）は有るけれど、市民はどこへ相談にいけば良いのか。
- ・中間支援が必要（入間ではまちづくりサポートネット元気な入間）

2班

- ・宮崎は事例の扱い良くできている。
- ・自分の描いているものが本当に協働なのか？協働が適しているか
- ・骨子作りを皆で試してみよう。

3班

- ・（成長するシステムとして）ルールブックより、ガイドラインでよい。
- ・協働の知識が不足
- ・責任の持ち方、市民の力。
- ・入間市は原点から。
- ・市民／行政の相談窓口（市民・行政の話し合える場がない）。
- ・アンケート、19年度事業費の検証も参考になる。
- ・予算のシステムや流れ、実態を知ることが必要。

○犬塚アドバイザーからのコメント

- ・具体的な中身を作っていく中で、「協働についての理解が足りない」という意見がでてくるが、いいところをついている。
- ・5年、10年先どのような協働を求めていくのか。
- ・個別の経験値をみんなの知恵に換える。
- ・そのまま良いものと、変えなければいけないもの。変えなければいけないものをどう変えていくのか。
- ・協働には幅がある。自分達がどこに重きを置くか、範囲を考える。
- ・協働のデザイン(=コーディネート)→実践(マネジメント)→振り返り(アセスメント) どこからスタートさせるか。

5. その他

(1)視察について（杉並区と西東京市）。

(2)今後の日程と進め方について。

- ・視察は6月18日（月）
- ・視察に伴う事前学習を6月11日（月）に行いたい。
- ・今後進めていく上での担当部会の新設について。

○運営部会より

- ・新部会については、運営部会で検討し、提案させていただきたい。

○委員より

- ・骨子（柱）は運営部会で考えたものに、みなで肉付けしていく。
- ・中澤委員に運営部会に加入してもらいたい。→中澤委員了承。

6. 閉会

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

会 長 _____